

窓辺

食への興味は
家族にルーツあり

なかの
中野 ヤスコ

父親の赴任先だったことが縁で、兄とともに藤枝市で育ちました。父は愛媛県今治市、母は福島県福島市の出身で、生粋の静岡人ではありません。今思うと、



食に興味を持つたきっかけは幼い頃の家庭環境にあった

ように思います。

毎年夏休みにはJR「青春18きっぷ」を使い家族で父の故郷へ行きました。始発に乗った後10回ほど鈍行列車乗り継ぎます。各駅停車でドアが開くたびに空

気感が変化しました。各地で方言や行事などさまざま

な習慣があり、食文化が違うことを自然に感じ取っていました。あの頃、瀬戸大橋などはなく、広島県三原市などから出る船で瀬戸内海を渡りました。静岡とは捕れる魚の種類が違い、海岸の砂も違って「砂が白い」と強く思った記憶があります。また、母は料理上手で

父もパンを焼いたり、基本的に外食をしない家庭でした。高校生の頃には、父の海外出張や赴任が多くなり、その国々の食文化や習慣に

ついても触れる機会が多くなりました。大学時代は4年間、静岡を離れ、他地域との違いをさらに感じました。

2008年より藤枝市を拠点に「ヘルスケア」「スポーツ栄養」「フードビジネス」の三つを柱に食専門の総合プロデュース事業を展開しています。20年はコロナ禍で大きな変化を強いられましたが「進化するチャンス」と捉えています。未来のアスリート、そして選手を支える多くの方たちへの支援を通じ、スポーツと食をつなげ地域産業の発展と地域課題に取り組みたいと思っています。

(公認スポーツ栄養士)